

“絆”きずな

事業所リレーエッセイ パートII ゆずる

私は訪問リハビリテーション振興財団入職前の2年間、青年海外協力隊員としてタイで活動をしていました。タイは日本以上の速度で高齢化の道を進んでおり、早急な高齢化対策が求められる上に、中進国として抱える各種問題への対応も求められる多くの課題を抱える国です。「人・物・金」の問題と理学療法士としてどのように向き合えばよいかについて、そのような環境下で2年間学び続けることが出来ました。また帰国後は東日本大震災で被災された方々のために、協力隊で得た経験を活かして何かが出来れば、と考えていたところ、任期中に財団理事とのご縁があり、入職に至りました。入職して約1年半が経過しましたが、地域のニーズの把握や自身のスキルアップ等々課題は山積みです。微力ではあるものの、地域の人々に少しでも貢献できるよう日々努力していきたいと思えます。

一般財団法人 訪問リハビリテーション振興財団 西崎 皓平
宮古・山田訪問リハビリステーションゆずる 理学療法士

訪問リハ・地域リーダーの“絆” ご当地紹介③⑥ 山口県編

超高齢化の先端を走っていますが、新幹線の駅は5つ、空港は2つある山口県です。2023年には、2基で日本をカバーするイージス・アショアも配備されるそうです。そんなインフラを他所に、街並みは大きく変わることなく、互助も空気のように存在する素晴らしい所です。その山口で訪問リハに携わり、多くの尊敬する先輩方や仲間と出会い、全国の地域リハを真剣に考えている人と繋がれていることが私の自慢です。

小規模土会×3で訪問に携わる療法士が少ない課題（特にST）も抱えています。研修会参加者は一定数確保できており、懇親会参加者は年々増加しています。毎回、ワークショップも盛況で、地域で活躍する療法士が同じ方向を向いていることを実感します。皆、真摯に利用者と向き合っており、お互いに向けた力も良い形となって地域に届いています。

山口県訪問リハ・地域リーダー 理学療法士 原野 大助
学校法人 山口コア学園 山口コ・メディカル学院

南から始まる「訪問リハビリテーションの魅力紹介」 in京都府

人と関わる仕事をしよう！とこの世界に入った私ですが、実は知らない人と話すのが苦手。他人の家に行くのも実は苦手でした。初めての訪問リハビリは平成4年。病院から家屋評価で訪問する時は明確な目的があるので、難なくやり過ごしましたが、訪問リハビリとなると…。「うーん、知らん人の家に一人で行くのか…」と。そこで、苦手を克服するために勉強させてもらったのが保健所の保健師さん。彼女たちの地域へのとけ込み方と言ったら、当時はすごいものでした。訪問に同行し、彼女らの一言一句を逃さず聴き、それをそっくり真似をする。おかげさまで、今ではどこでも扉をたたき、新たな人たちとの関りが広がる、刺激的で楽しい毎日を送っております。“他職種に学ぶ”。保健師さんたち、訪問リハビリの楽しさを教えてくれてありがとう。

京都府訪問リハ・地域リーダー 理学療法士 関 恵美
京都民医蓮第二中央病院 リハビリテーション部

《お知らせ》

★訪問リハビリテーションフォーラム2017 パートII 開催について

日 時：平成30年2月18日（日） 9時30分～12時30分

会 場：ホテルニューカリーナ（岩手県盛岡市菜園2-3-7 電話：019-625-2222）

対象者：介護支援専門員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の各協会員

定 員：先着300名（※定員に達し次第受付を終了いたします。）

右記のQRコードから申し込みフォームにて入力を行ってください。

